



社協だより

～あの人の幸せを 私の幸せに～

共同募金配分金で作成しています



城陽市社協HP



城陽市社協MAP

発行
社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

TEL 0774(56)0909
FAX 0774(56)2800
http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/

令和2年春発行
第131号

ボランティア講座

車いすの使い方 地域のお役立ち活動

車いすの使い方、効果的な介助の方法をご存じですか？
車いすの使い方を一緒に学びましょう。

また、地域活動として、小中学校の車いす体験のサポーターや
施設ボランティアをしていただける方も募集します。



日時

3月21日(土)
13:30～16:00

場所

城陽市立福祉センター

定員

20名

対象

城陽市在住もしくは在勤
車いすの使い方を知りたい方や
ボランティアをしたい方

参加料

無料

講師

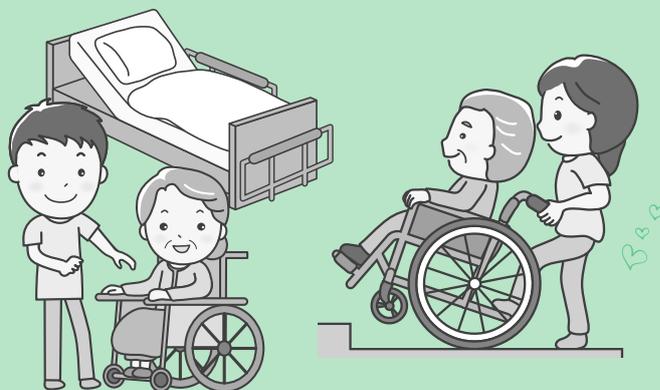
サン・アビリティーズ城陽
館長 筒井 忠彦 氏

申込先

市社協 ☎56-0909



たくさんのお申込みを
お待ちしております！



アクセスMAP



第41回 城陽市社会福祉大会の報告



第1部

式典 被表彰者

順不同・敬称略、
()内は推薦団体

1 城陽市長表彰(3名)



●社会福祉事業功労者(3名)

徳地 靖子 (久津川校区社協)	布村 孟三 (古川校区社協)
飯田 薫 (寺田西校区社協)	

2 城陽市社会福祉協議会会長表彰(58名)



●社会福祉事業功労者(34名)

藤澤 富子 (久津川校区社協)	岩崎 富美枝 (久津川校区社協)
田畑 久美子 (久津川校区社協)	安村 みどり (久津川校区社協)
木田 慶子 (久世校区社協)	梶村 健 (深谷校区社協)
小谷 千佳 (深谷校区社協)	妹尾 登 (寺田西校区社協)
中出 政美 (寺田西校区社協)	伊庭 顕夫 (寺田西校区社協)
木下 公子 (富野校区社協)	松井 清子 (富野校区社協)
芳川 敏博 (身障協会)	高嶋 啓子 (身障協会)
加治屋 初江 (介護者の会)	大出 美津子 (介護者の会)
喜多 早百合 (府立身障センター)	檜 尚史 (府立身障センター)
石井 久之 (うめの木福祉会)	増田 眞千子 (清仁福祉会)
小野 香苗 (清仁福祉会)	柳原 恵 (清仁福祉会)
栗生 道子 (清仁福祉会)	古賀 良子 (清仁福祉会)
小林 香里 (清仁福祉会)	川端 昌拓 (青谷学園)
松本 弘司 (青谷学園)	池田 小百合 (青谷学園)
石井 康久 (和光会)	橋本 隆之 (和光会)
井口 弥生 (和光会)	森川 康治 (和光会)
濱田 弘子 (V連協)	匿名 1名

●民生委員・児童委員奉仕者(24名)

見方 親憲 (民児協(久津川))	那須 美起子 (民児協(久津川))
森 康高 (民児協(久世))	浅野 実 (民児協(久世))
亀井 敏夫 (民児協(久世))	堀井 眞智子 (民児協(久世))
熊谷 文緒 (民児協(久世))	外村 明美 (民児協(深谷))
井上 早苗 (民児協(深谷))	上杉 禮子 (民児協(深谷))
西幹 敬 (民児協(深谷))	田川 繁子 (民児協(寺田))
神戸 護 (民児協(寺田))	宮下 弘子 (民児協(寺田))
今本 弘 (民児協(寺田))	今西 啓員 (民児協(寺田))
上田 誠 (民児協(寺田南))	濱田 由紀子 (民児協(寺田西))
有田 龍太郎 (民児協(今池))	平石 邦子 (民児協(今池))
後藤 俊昭 (民児協(富野))	中川 博江 (民児協(富野))
林 初美 (民児協(青谷))	森田 喜久子 (民児協(青谷))

2月15日(土)に第41回城陽市社会福祉大会を開催しました。第1部の式典では日頃から福祉活動に貢献されている下記受賞者145名・団体の表彰を行い、第2部の第14回児童・生徒の福祉作文コンクール表彰では表彰後、次ページ以降の最優秀賞作品の発表、第3部の講演では、落語家笑福亭晃瓶氏に講演および落語をしていただきました。



3 城陽市社会福祉協議会会長感謝状(60名 24団体)



●社会福祉事業奉仕者 個人(57名)

高橋 芳枝 (久津川校区社協)	坪本 和美 (久津川校区社協)
窪田 美佐子 (久津川校区社協)	田中 眞木子 (久世校区社協)
今井 光江 (久世校区社協)	山本 美貴子 (久世校区社協)
竹中 千春 (深谷校区社協)	上田 陽子 (寺田南校区社協)
中井 雅美 (寺田南校区社協)	山縣 美智代 (寺田南校区社協)
小丸 智篤 (市社協)	久門 正雄 (市社協)
早迫 スミ子 (久世校区社協)	岩尾 良子 (久世校区社協)
村井 益美 (久世校区社協)	浅野 幸子 (久世校区社協)
利田 昌代 (久世校区社協)	松井 悦子 (V連協)
高山 俊恵 (V連協)	旗手 栄子 (V連協)
芳賀 莊太郎 (民児協(久津川))	安沢 和美 (民児協(久津川))
真下 まさよ (民児協(久津川))	小林 さち子 (民児協(古川))
中村 義人 (民児協(古川))	井ノ内 つきみ (民児協(古川))
中村 江津子 (民児協(古川))	古賀 久美子 (民児協(古川))
村上 典子 (民児協(古川))	安樂 厚子 (民児協(久世))
北川 行雄 (民児協(久世))	島本 佳誉子 (民児協(久世))
来代 万乃 (民児協(深谷))	川瀬 康子 (民児協(深谷))
山崎 弥生 (民児協(深谷))	谷 美和子 (民児協(深谷))
牛田 広美 (民児協(深谷))	大澤 新 (民児協(寺田))
船塚 由子 (民児協(寺田))	濱田 洋子 (民児協(寺田))
上田 薫 (民児協(寺田南))	竹村 加津美 (民児協(寺田南))
小原 富貴子 (民児協(寺田西))	吉村 泰秀 (民児協(寺田西))
中村 康信 (民児協(寺田西))	木村 佳代子 (民児協(今池))
今崎 成美 (民児協(今池))	渋谷 悦子 (民児協(富野))
土田 和彦 (民児協(富野))	小出 信晴 (民児協(富野))
中川 和則 (民児協(富野))	井上 靖 (民児協(富野))
岡井 康弘 (民児協(青谷))	有田 道治 (民児協(青谷))
向井 美芳 (民児協(青谷))	匿名 2名

●社会福祉事業奉仕者 団体(21団体)

久世西部自治会	城南団地共益管理組合	若葉自治会
野原自治会	市ノ久保宮前自治会	西ノ口大三戸自治会
西広田自治会	大川原自治会	水主自治会
ひかりの里自治会	東ノ口自治会	島の宮住宅自治会
上大谷友が丘自治会	小南自治会	富野堀口自治会
久世東部自治会	城陽佐伯団地自治会	奈島自治会
城陽南第三自治会	今橋自治会	傾聴ボランティア コスモス

●社会福祉事業奉仕者 大口寄付(3名 3団体)

木田 慶子	山崎 幸
全京都建築労働組合 洛南支部	株式会社ツルハホールディングス
城陽オレンジゴルフセンター	クラシエホールディングス株式会社
	匿名1名

第2部 第14回 児童・生徒の福祉作文 最優秀賞

「みんなが住みやすい町とは？」 深谷小学校5年 成田 結

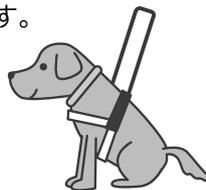
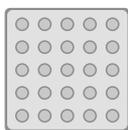
私にはやさしくておもしろくて一緒にいると楽しいと思える大好きなおばあちゃんがあります。その大好きなおばあちゃんが、庭の花に水やりをしている時、目の辺りでプチッと音がしてとたんに右目がどんどん見えなくなったそうです。おばあちゃんはすぐにがん科へ行きました。病名は「緑内障」というしん断でした。私が3年生の時の事です。

私が3年生の時、学校でアイマスク体験というじゅ業がありました。それは目が見えない人の日常生活を体験するじゅ業でした。私はまずアイマスクをつけて2階の教室から体育館まで移動しました。もちろん1人ではこわくて歩けないので、ペアになった友達のゆうどうで歩いて進みます。最初にアイマスクをつけたしゅん間「わっ、真っ暗!!」と不安になりました。「これで本当に体育館まで行けるのかな。」と思いました。頼りはペアの子だけです。でもそのペアの子すら見えないので声だけを頼りに歩かないといけなからこわくて不安でした。階だんはもちろんこわかったし実際体育館の前のマットにつまずいてこけてしまいました。なんとか体育館にとう着してほっとしたけれど、アイマスクをつけてはいてもふだんからよく遊んだり使ったりしている場所だから、どの辺りに階だんがあったりだん差があったりもう少しで体育館だなど想像したりする事がやっぱりできたと思います。だけど、本当に目が見えていない人なら特に初めて行く場所などは、1人ではきけんな事もたくさんあるのだらうなと思いました。



アイマスクをしてたくさん気付いた事があったのでペアを交代してゆうどう役になった時は私がつまずいたマットで友達はこけないように、マットをさけて通るよう声をかけたり、階だんを登る時にも、あと何だんあるよと声をかけたりしました。それは、少しでも不安にならないようにと工夫したつもりです。

4年生の時には、私達の身近な所でも目の見えない人達への工夫がされている事をじゅ業で先生が教えてくれました。目の見えない人のお手伝いをするもうどう犬の事、エレベーターの押しボタンの点字、駅のホームの転落防止の点字ブロックなどがそうです。



私は時々、目の不自由な人が駅のホームから落ちて電車にひかれてなくなられたというニュースを聞くことがあります。最近では宇治市でも目の不自由なおばあちゃんのがん科へ行こうとしていると中でホームから落ちてなくなられたそうです。そういうニュースを聞くと私のおばあちゃんもそんな事になったらとても悲しいので1人で出かけないで目が見えているおじいちゃんと一緒に出かけしてほしい

と思います。私もおばあちゃんとは出かけるときは手をにぎってあげてだん差があったら気をつけるように声をかけてあげたりしています。

学校で点字ブロックについて習ってから、スーパーやコンビニに行った時に気付いた事があります。それは点字ブロックの上に自転車やバイクがとめてあることです。そこにもし目が不自由な人が歩いて来てしまったら、自転車やバイクがたおれてきて、大けがにつながるかも知れないから、とてもきけんだと思います。点字ブロックの上には絶対にとめないようにしないとイケないと思います。



私は、学校で習った以外にも目の見えない人達への工夫でどんなものがあるか調べてみました。すると横断歩道には「音きょうそう置(音響装置)信号機」という機械がついている事が分かりました。実際信号で聞いてみると「カッコー」という音と「ピョピョ」という2種類の音がありました。これは東西と南北の方角を聞き分けるためだそうです。この様に今まで気付かなかった事もたくさんありますがこれからどうしたら目が見えない人、そして他の病気を持った人たちがすごしやすくなるかを考えるべきだという事に気がつきました。



「障がいのある人と接して」

南城陽中学校2年
叶 愛奏



私は1学期の職場体験学習で「心身障害者福祉センター」という、障がいのある方たちの施設へ行きました。もともと私は障がいについてあまり深く考えたことがなく、この施設に体験に行くことも正直に言って乗り気ではありませんでした。しかし、3日間障がいのある方と接しているうちに、多少違いやハンデなどがあっても、障がいの無い人と同じように暮らしていることを知り、もっと障がいについて考えていこうと思うようになっていました。

世の中には私のように、あまり障がいについて考えたことの無い人がまだまだたくさんいると思います。そんな人たちにも障がいについて知ってもらうためには、障がいのある方と接する場を作ることが一番早いと私は考えました。いろいろな学校などでやっている車いす体験やアイマスク体験も障がいを知る第1歩として、有効だと思います。しかし、私も毎年そのような体験を学校でしていますが、正直なんとなくやっただけで、「障がいのある人は大変なんだな。」とその時少し思う程度であまり深く障がいについて考えることはありませんでした。

では、どうすればみんながもっと障がいに触れることができ

るのでしょうか。人それぞれだとは思いますが、私はやっぱり、最初に書いたように障がいのある人と実際に接してみて、その生活を間近で見ることが一番効果的だと思います。そこで私は学校などで校外学習と同じような感覚で障がいのある方が暮らす施設などに体験に行くのが良いのではないかと思います。

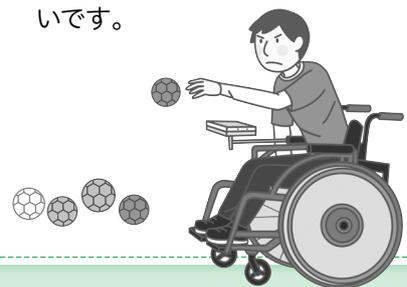
ところで、2020年にオリンピック、パラリンピックが開催されますが、パラリンピックの種目の1つの「ボッチャ」というスポーツを知っていますか。ボッチャとは、比較的重い障がいのある人のために考案された球技で、最初にジャックボールと呼ばれる白いボールを投げ、続いて赤と青の各6個のボールを投げたり、転がしたりして、目標となるジャックボールにいくかに多くのボールを近づけるかを競うスポーツのことです。私はボッチャを職場体験学習で初めて知りましたが、簡単そうに見えて実は難しく、頭を使いますが、誰でも楽しめるようなスポーツでした。障がいの事を知るにあたって、こういうスポーツを通じて知ったりするもの良いと思います。

今度のパラリンピックでボッチャの試合を見てみたいです。

今まで私はオリンピックは見たことがあっても、パラリンピックは見たことがなかったので、ボッチャに限らずいろいろな競技を見たいと思います。

世の中には様々な人がいます。背が高い人、低い人、黒髪の人、金髪の人、障がいのある人。一人一人違うことを知り、一人一人の個性を尊重し協力しあうこと。それが障がいだけでなく、国や性別も超えて今よりもっとよりよい世の中になるために、大切なことだと思います。

障がいのある方の中には、事故や病気などによって突然足や手が動かなくなってしまった方もたくさんいます。それを踏まえて、障がいは全然遠いものではなく、むしろ私たちの身近にあるものだという事を理解して、障がいのある方々と接していきたいです。障がいのある方々も食事をしたり、遊んだり、笑ったりと、私たちと変わらない毎日を過ごしています。だから、あまり障がいのある人を自分と関係ない遠い存在だと思わずに、壁を作らないでいきたいです。



こんな活動されています
え
笑みカフェ

深谷校区では、8年ほど前から「笑みの会」という地域のボランティア団体が「笑みカフェ」というふれあいカフェを行っています。高齢になっても外に出ることが元気の秘訣！なんと最高齢の方は93歳とのこと。とても元気で活気のあるカフェです。ぜひ、ご参加ください。

- 日時 毎月第4木曜日 13:30~15:30
- 場所 ほっと深谷(城陽深谷郵便局の東・バイク店の向かい)
- 対象 高齢の方、地域の方
- 内容 カードゲーム、歌、おしゃべりなど
- 参加費 100円
- 問合せ 市社協 ☎56-0909



ボランティア登録受付中

市社協では、ボランティア活動にご協力いただける方に、年度を単位として(当該年度の4月1日～翌年3月31日)登録を受付けています。

災害ボランティア

城陽市内外で災害が発生し、がれきの撤去や泥かき、片付けなど、復旧活動支援の依頼があった際にご協力いただける方

ボランティア連絡協議会(以下:V連協)

登録団体・個人で城陽市の福祉ボランティア活動の推進を図る団体で、V連協が実施・参加する活動へご協力いただける方(講演会や研修会のご案内もあります)

小地域福祉活動

各校区社協(小学校単位で組織されている福祉活動団体)での高齢者料理教室や安否確認等の地域における福祉活動にご協力いただける方

12月末までに登録された方には、安心して活動いただくために、右記項目“ボランティア保険”の保険料を一部助成しています。



「生活支援員」募集

男性も大歓迎!

福祉サービス利用援助事業にて、判断能力に不安のある高齢者や知的・精神障がいのある方等の自宅へ訪問し、日常生活に係る金銭管理等の支援を行います。

活動内容 上記事業の対象者宅に訪問し、日常生活に係る金銭管理(生活費の払出しや各種支払い手続き)や郵便物の確認、整理の援助等 ※年3回程度研修があり、未経験の方でも安心です。

活動頻度 月1, 2回程度、1回1~2時間程度(担当していただく利用者によって変動します)

時給 910円/時間(別途交通費の支給あり)

問合せ先 市社協 TEL:56-0909

城陽市共同募金会の義援金情報

●平成28年熊本地震義援金

募集期間: H28.4.15~R2. 3.31
R2.1.31現在 合計額 3,236,260円

●平成30年7月豪雨災害義援金

募集期間: H30.7.11~R2.6.30
R2.1.31現在 合計額 1,027,544円

●平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

募集期間: H30.9.12~R2.3.31
R2.1.31現在 合計額 114,900円

●令和元年台風第15号・19号大雨災害義援金

募集期間: R1.9.17~R2.3.31
R2.1.31現在 合計額 31,079円

城陽市共同募金会では、上記義援金を福祉センター1階の窓口で受付けており、老人福祉センターや市役所でも一部の募金箱を設置しています。ご寄付いただいた義援金はその全額を被災された方々の生活再建のためにお届けしています。ご協力をお願いいたします。

ボランティア保険・福祉行事保険

市社協では、安心してボランティア活動や福祉行事をしていただくために、保険の窓口業務も行っていきます。

ボランティア保険とは...?

ボランティア活動中

- ①事故により本人が死亡もしくはケガをした
- ②他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償問題が生じた場合を補償する保険です。

▼期間 4月1日～翌年3月31日(期間途中の加入は、保険料振込みの翌日から)

▼保険料 250円~/1人
補償内容により保険料は異なります



福祉行事保険とは...?

国内にて、福祉活動やボランティア活動、市民活動の一環として、非営利の団体が主催する行事参加中に、

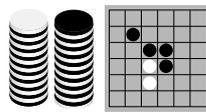
- ①行事参加者が偶然な事故でケガをした場合の障害補償
- ②行事主催者が行事参加者など他人の身体や財物に損害を与え、主催者が法律上の賠償責任を負った場合の賠償責任補償

▼保険料 30円~/1人
行事内容等により保険料は異なります

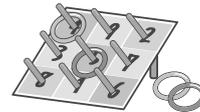
無料貸出備品のご紹介

本会では、レクリエーション物品やご寄付いただいた車いす等の貸し出しをしています。地域での季節のイベント、急に車いすが必要になったときなど、ぜひ、ご活用ください。貸し出している場合がありますので、事前にお問い合わせください。

- 物品貸出可能期間: 必要と思われる期間
- 車いす貸出可能期間: 最長2か月
- 申請時に必要なもの: 印鑑



白黒ゲーム



公式輪投げセット



車いす

本会へのご寄付 ありがとうございました

(令和元年12月1日～令和2年1月31日現在)【敬称略】

- 宇城久明るい社会運動の会 15,000円
- 山崎 幸 210,000円
- 八久城地区自動車整備協議会 30,000円

ご寄付いただきました寄付金は地域福祉活動の推進に活用させていただきます。

9月29日に開催した「城陽福祉ふれあいまつり」では、9団体から125,000円相当の金品のご寄付をいただきました。このご寄付は上記まつりの活動に活用させていただきます。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。